



3 たのしさいっぱい♪

さいたま水族館

特報!



さいたま水族館キャラクター
「ムートくん」

リニューアル OPEN 3.16土



さいたま水族館



さいたま水族館

〒348-0011
埼玉県羽生市三田ヶ谷751-1
TEL.048-565-1010



さいたま水族館 検索

入館料 大人(高校生以上)300円 小人(小・中学生)100円
※特別展期間中は大人400円 小人100円
休館日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)※春休み期間中は無休
開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
アクセス [車]東北自動車道羽生ICから乗橋方面へ3km[電車]東武伊勢崎線羽生駅または加須駅からタクシー利用で15分



現在のような点の集合で絵を描くようになったきっかけは、学生の頃の卒業制作

小 さい時から絵を描くことが大好きで、小学校4年生頃「30年後の自分」をテーマに書いた作文で「将来画家になる」と書いたことを今でも覚えています。作家としてはまだまだ未熟なので、夢が叶ったという実感はまだありませんが(笑)。
地元春日部では、気分転換がてらによく古利根川沿いをウォーキングします。制作期間中は運動不足になりがちなので、あとやっぱり、外からの刺激を受けた方が作品の発想しやすいですね。

作品から自由なイメージを膨らませて下さい！

でした。作品を制作するにあたっていろいろ考えていた時期にちょうど「箱庭療法」についての本を読んでいたんです。箱庭療法は精神科で患者さんの精神状態を判断するための診療方法のひとつで、砂を敷き詰めた小さな箱の中にミニチュアの人や動物や建物を配置していくという過程が自分の制作と似ているなと思っただけです。実際に箱庭療法を試したことはないのですが、自分でやったらどうなるかと想像したときに、とりあえず最初はいっぱい物を置いていくけど、最終的には砂に戻すような気がして、じゃあその状態を描こうかと思い、その砂のイメージが点に繋がりました。そこで試しに点で絵を描いてみたら、自分でも思



も寄りぬ形が出てきて、それが面白くて、そのうちキャンパスを点で埋め尽くしたという衝動に駆られました。

絵のタイトルは、どういう言葉がこの絵にはぴったりなのかと考えながら、制作の終盤に決めていきます。最初にタイトルを決めてしまうと、言葉に縛られて自由に描くことができないので。
作品を観た人には、絵から自由にイメージを膨らませてほしいと思います。私自身が想像もしていないようなことを作品から感じとってもらえると嬉しいですね。

BREAK interview

美術作家
榮水 亜樹
photo:Noriyuki Banno



榮水 亜樹
Aki Eimizu
1981年生まれ。春日部市出身。2005年、東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。細かな点の集合で構成された独自の画風で注目される新鋭アーティスト。2013年夏には、MA2 Galleryにて個展の開催を予定している。
その他の、榮水さんの作品はこちらからご覧いただけます！
MA2 Gallery <http://www.ma2gallery.com/>